



2017年2月22日

## 自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員を促進 CXCR4ケモカイン受容体拮抗剤「モズビル<sup>®</sup>皮下注24mg」新発売

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジャック・ナトン、以下「サノフィ」)は、本日、自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員を促進する効果を有する薬剤「モズビル<sup>®</sup>皮下注 24mg」(一般名:プレリキサホル、以下「モズビル<sup>®</sup>」)を発売しましたのでお知らせします。



【モズビル<sup>®</sup>製品写真】

多発性骨髄腫、非ホジキンリンパ腫等の血液がん治療における大量化学療法では、骨髄抑制の副作用のため、治療後に造血機能および免疫機能を回復させる必要があります。そのため主に患者さんの末梢血から造血幹細胞を事前にアフエレーシスにより採取し、大量化学療法後に自身の体に戻す自家移植が行われています。しかし一部の患者さんにおいては、十分な量の造血幹細胞を得ることができず、結果として移植を断念せざるを得ない場合があります。また、自家移植を行うための十分な量の造血幹細胞を確保するために、1日数時間におよぶアフエレーシスによる採取を連日行う必要があり、患者さんにとって身体的・時間的な負担が大きいのが現状です。

**CXCR4** ケモカイン受容体拮抗剤であるモズビル<sup>®</sup>は、造血幹細胞を骨髄から末梢血へ循環させる「動員」を促進させる働きを持ち、造血幹細胞採取の実施回数の減少と採取率の向上に貢献できる薬剤です。本剤の動員促進効果により、一回の採取で得られる細胞数が増加し、自家移植を行うために必要な量の造血幹細胞の採取が可能となります。これにより、自家末梢血幹細胞移植が可能になる患者さんが増加すること、および採取に必要なアフエレーシスの回数の減少が期待されます。

本剤発売にあたり、サノフィジェンザイムビジネスユニット ジェネラルマネジャーのパスカル・リゴディは次のように述べています。「厚生労働省より医療上必要性の高い未承認薬として開発要請を受けたモズビル<sup>®</sup>を日本で開発できたことを大変光栄に思います。モズビル<sup>®</sup>は現在、50以上の国と地域で承認されており、日本においても、自家末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんに新たな治療選択肢をお届けできることを嬉しく思います」

以上

### サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー  
www.sanofi.co.jp



## モズビル<sup>®</sup>製品概要

販売名	モズビル <sup>®</sup> 皮下注 24mg
一般名	プレリキサホル
効能又は効果	自家末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員促進
用法及び用量	G-CSF 製剤との併用において、通常、成人にはプレリキサホルとして 0.24mg/kg を1日1回、末梢血幹細胞採取終了時まで連日皮下投与する。
国内製造販売承認取得日	2016年12月19日
薬価	581,972円
薬価収載日	2017年2月15日
発売日	2017年2月22日

### 自家末梢血幹細胞移植について

多発性骨髄腫、非ホジキンリンパ腫等の血液がんでは、大量の抗がん剤を用いた化学療法(大量化学療法)が実施されることがあります。大量化学療法は血液を作り出す骨髄の機能を抑制する副作用を引き起こすため、治療後の造血機能および免疫機能の回復のために血液を作るもとになる造血幹細胞を事前に採取し、大量化学療法後に患者さんの体に戻す自家移植が行われます。

移植に使用される造血幹細胞は骨髄、臍帯血、末梢血から採取することができ、患者さん自身の幹細胞を使用する移植は「自家移植」と呼ばれ、1980年代以降、広く実施されています。

自家移植では主に、移植する造血幹細胞の採取が簡便で腫瘍細胞混入の可能性が低い末梢血を採取する方法が行われます。しかし、骨髄に比べると、末梢血中の造血幹細胞は少ないため、造血幹細胞を骨髄から末梢血へ循環させる「動員」が必要となります。

### サノフィについて

サノフィは、グローバルヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。5つのグローバルビジネスユニット(糖尿病および循環器、ジェネラルメディスンと新興市場、サノフィジェンザイム、サノフィパスツール、コンシューマー・ヘルスケア)で組織され、パリ(EURONEXT: [SAN](#)) およびニューヨーク(NYSE: [SNY](#)) に上場しています。日本においては、「日本の健康と笑顔に貢献し、最も信頼されるヘルスケアリーダーになる」というビジョンの実現に向けて、患者中心志向に基づき、医薬品等の開発・製造・販売を行っています。詳細は <http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。